学校番号	４０８

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	新選日本史Ｂ　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・流れ、変化としての歴史を感じよう。
・原因と結果、理由のある現象として歴史をとらえよう。
・この現在につながるものとして歴史を学ぼう。

2　学習の到達目標

・日本の歴史を学習する取組を通して、日本史への一般常識的知識を養う。
・歴史的な思考力・判断力を培い、現代の日本と世界が直面している政治・経済・社会・文化等の様々な課題について、主体的に判断できる力を養っていく。
・１年次必修日本史Ａ、３年次日本史演習とあわせ、全時代、全テーマをバランスよく学習する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自分たちが生活する日本（日本列島）の歴史への関心を持つと同時に、それを取り巻く世界との関係、現代につながる問題などについても意欲的に考えていく。	歴史の流れを単なる事柄の羅列としてではなく、様々な原因と結果、理由のある現象としてとらえ、理解する。	過去に起こった様々な事象を、歴史的に分析できる。そして現代から未来の事象を自分の問題として考えることができる。その際、様々な情報を客観的に分析することができる。	一般常識として必要な知識を持ち、自らの思考によって歴史認識、判断をする事ができる。 進路実現のための学力を高める。
評価方法	・学習状況の観察 ・レポート 〔主題学習〕レポート「歴史への関心を問う」	・学習状況の観察 ・定期考査	・学習状況の観察	・定期考査 ・ノート ・小テスト ・レポート 〔主題学習〕レポート「未来への展望を問う」

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	導入～原始から古代へ	旧石器、縄文、弥生、古墳各時代を通じて、日本列島における文化と社会の発展を学び、国家形成にいたる流れを学ぶ。 ・旧石器時代の日本社会 ・縄文時代の日本社会 ・弥生時代の日本社会 ・古墳時代の日本社会	 ○ ○	 ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:日本列島に人が住みどのような営みを展開していったのかに関心を持つ。 b:原始から古代の日本社会の発展の経緯について、その過程を理解し表現する。 c:写真や図版から当時の生活のみならず社会の様相やその変化等を読み取る。 d: 原始から古代の日本社会の発展の過程を理解し、個々の事象についても基本的な知識を得る。	定期考査 ノート 小テスト レポート
	古代国家の形成と展開	飛鳥、奈良、平安各時代を通じて、古代律令国家の成立と発展、そして変質の過程を学ぶ。あわせて大陸文化の導入とその日本化の過程を通じて、日本文化の源流を学ぶ。 ・飛鳥時代の日本社会 ・奈良時代の日本社会 ・平安時代の日本社会	 ○ ○	 ○	 ○	 ○ ○	a:日本社会における国家の形成過程の経緯について関心を持つ。 b:国家とは何かについて考え、自らの思考の中で定義づけを形成していく。 c:文献史料等を読み込み、国家の形成と変遷についての情報を集積する。 d:日本古代の各事象に関する基本的知識を身に付け、自らの国家観を醸成する。	定期考査 ノート 小テスト レポート
二学期	中世社会の成立と発展	平安末から鎌倉時代にかけて武士の成長と政権獲得、荘園制を基盤とした中世封建制社会の成立と発展を学ぶ。 ・平安末期の日本社会 ・鎌倉時代の日本社会	 ○ ○	 ○	 ○	 ○	a:貴族から武士へ権力が移行する過程とその社会的背景の変遷について関心を持ち、意欲的にその要因を探る。 b:権力基盤の変遷の推移と権力構造の変化について、なぜそうなったかの分析をし、その成果を表現する。 c:土地所有や金銭貸借関連の諸史料に当たり、当時の社会構造への理解を齎す情報を収集する。 d:日本の中世社会への理解と基礎知識の集積をめざす。	定期考査 ノート 小テスト レポート

	中世から近世へ	南北朝、室町、戦国、安土桃山各時代を通じて中世社会の発展と変化、さらに近世幕藩制社会への移行を学ぶ。 日本史演習の復習を兼ねて、江戸時代史の概略を学ぶ。 ・南北朝時代の日本社会 ・室町時代の日本社会 ・戦国時代の日本社会 ・安土桃山時代の日本社会 ・江戸時代の日本社会	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:日本の中世から近世への移行過程に興味を持ち、支配層と被支配層の関係性がどう発展していくのかについて探究しようとする。 b:支配・被支配の力関係の変遷を背景に日本社会がどう発展していくかを見極め、自らの思考の下、その見解を表現する。 c:文献史料・地図・図面等の諸資料を駆使し、中世から近世への日本社会の移行過程に迫る。 d: 中世から近世の諸事項を把握し、歴史的かつ地理的視座の下、その発展の経緯を理解する。	定期考査 ノート 小テスト レポート
三学期	近代国家の成立と発展	日本史Aの復習を兼ねて、明治以降の近現代史の概略、近代日本国家の成立と発展を学び、あわせて戦争と平和、そして未来への展望を考える。 ・明治時代の日本社会 ・大正時代の日本社会 ・昭和前半の日本社会 ・昭和後半の日本社会	 ○	 ○ ○ ○ ○	 ○	 ○ ○	a:近代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心を高めている。 b:明治以降の日本の近代化の過程や立憲国家としての展開から課題を見出し、諸外国との関係と関連付けて多面的に考察するとともに、公正に判断し、それを適切に表現している。 c:近代国家の形成と社会や文化の特色に関する情報を読み取っている。 d:明治以降の日本の近代化や立憲国家の成立過程についての基本的な事柄を諸外国との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート 小テスト 〔主題学習〕 レポート